

# ～地域ぐるみで行う鳥獣被害対策支援事業～

## 〔令和4年度実施地区〕 鶴岡市羽黒町手向地区

### ■ 実施体制

- 実施主体：手向鳥獣被害対策協議会
- アドバイザー：宇野壮春 氏（合同会社東北野生動物保護管理センター）
- コーディネーター：庄内総合支庁農業振興課  
庄内総合支庁農業技術普及課

### ■ 地区のプロフィール

- 地区内の世帯数：514世帯 うち農家数102件
- 主な被害作物：水稲、果実、ゆり根など
- 主な加害鳥獣：イノシシ、ツキノワグマ



## 1. 取組のきっかけ

- 市の東部に位置する手向地区では、近年イノシシによる圃場の掘り起こしや、農作物への被害が増加傾向にあった。そのため、鳥獣被害対策協議会を組織し、猟友会による捕獲を実施してきたが、被害減少への効果には限界があった。
- 同地区では専業農家が少なく、電気柵の普及が進んでおらず、耕作放棄地が増加していることも鳥獣被害の要因となっていた。
- 今後もイノシシによる被害の増加が予想され、猟友会への負担が増加することが懸念されることから、捕獲だけに頼らない地域一体となった鳥獣被害対策に取り組みたいと考え、本事業を実施することとした。

## 2. 取組の内容

### ●事前打ち合わせ（6/15開催）

アドバイザー、協議会代表者、猟友会、県、市職員が集まり、研修内容や今後のスケジュールについて打ち合わせを行った。その後、現地に出て被害状況の確認を行った。

### ●第1回研修会（7/27開催）

イノシシ等の野生動物の生態や、侵入防止柵の種類など鳥獣被害対策における基礎的な知識についての講義を受けた。講義の中では、捕獲だけに頼らず地域で一体となった環境整備、被害防除対策が必要であることを学習した。また、猟友会の現状と課題について、山形県猟友会鶴岡支部羽黒分会長から説明を受けた。

### ●第2回研修会（8/28開催）

イノシシによる掘り起こし被害が多くあった圃場において、農業関係者を中心に電気柵の設置について研修を行った。設置方法や管理時の注意点について講師の説明を受けながら、参加者が主体となって設置作業を行うことにより、地域全体で被害防除に対する意識を高めることができた。

### ●鳥獣被害マップの作成

集落内で鳥獣被害に関するアンケート調査を実施し、出没鳥獣種等の情報を書き出した鳥獣被害マップを作成した。また、被害報告の多いエリアにはセンサーカメラを設置した。

### ●第3回研修会（11/8開催）

アンケート調査で出没の多かったエリアを4つに分け、ワークショップを行った。グループごとに個人、集落、行政で出来ることについてそれぞれ意見を出し合い、課題と今後の対応策の検討を行った。



講義「野生動物の生態と被害対策について」



電気柵設置研修

## 3. 成果と今後の展望

- 電気柵の設置研修やグループワークなどを地域住民が主体となって行ったことにより、鳥獣被害対策に対する当事者意識を高めることができた。
- 高齢化等により、今後も集落内の耕作放棄地が増加することが予想されるため、今回学んだ知識及び対策方法を、広報等で集落内で情報共有する等して活用し、鳥獣被害の拡大防止に取り組んでいきたい。